

肺がんと喫煙

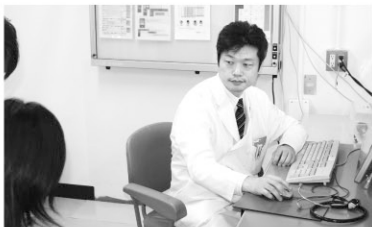


徳島大学病院
呼吸器外科 講師

けん たかし こういち さん
監崎孝一郎氏

肺がんは、日本のがん死亡第一位であり、年間約七万人が治療の遅れなどにより大切な命を落としています。予防としてタバコを吸わない事とやめる事に効果があることが証明されています。また、禁煙に成功してもリスクが非喫煙者と同じになるのに約十年かかるといわれており、一旦壊れた肺組織は元に戻りません。喫煙は、他のがんの原因だけでなく、様々な成人病を引き起します。

四十歳以上の喫煙者は、禁煙はもちろんのこと検診での胸部写真や喀痰細胞診をお勧めします。平成十八年から認可医療機関で禁煙治療の保険診療が可能です。国会では、再びタバコの値上がりが議論されています。これをきっかけに、喫煙されている方は、タバコのリスクを十分ご検討ください。



 徳島大学病院がん診療連携センター
お問い合わせ がん診療連携センター:Tel.088-633-7312

徳島がん対策センター
お問い合わせ 相談窓口:Tel.088-633-9438